

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	特別史跡公園西都原古墳群
指定管理者	一般財団法人みやざき公園協会
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課

1 施設利用状況

指標	H28	H27	H26	増減理由等
公園利用者数 (単位:人)	33,660	29,501	32,923	西都原古墳群は平均で約3万2千人が訪れており、平成28年度は古墳まつりが30回記念であり、西都市観光協会が県外への広報活動を実施し参加者が増加している。
コメント	花の開花状況により利用者が増減する傾向にあるが、地域住民や関係団体及びボランティアとの連携を図るとともに、利用者ニーズを捉えた管理運営を行うことでより安定した利用を促進していく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H28	H27	H26	支出	H28	H27	H26
指定管理料	25,745	25,959	25,663	人件費	11,197	12,306	12,448
自主事業等	22	36	38	需用費・役務費	5,586	5,971	5,121
				委託料・使用料等	4,521	3,247	4,584
				経費	4,283	4,318	2,692
				自主事業支出	111	89	150
合計(①)	25,767	25,995	25,701	合計(②)	25,698	25,931	24,995
収支差額(①-②)	69	64	706				
コメント	消耗品購入に関して協会全体で単価契約を締結し一括購入を行うことで消耗品費の縮減を図っている。収支状況は適正である。						

3 管理運営状況

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、駐車場清掃、トイレ清掃(午前と午後2回実施)
	保守・点検	浄化槽点検(月1回)、園内施設安全点検(年3回)、照明点検(月15回)
	警備	巡回パトロール、夜間巡回警備
	修繕	西都原公園内漏水修理
	備品等管理	-
	安全対策	労働災害防止対策会議(月1回)
	その他	植栽管理業務(樹木、芝、草地、花壇等)、施設維持管理業務(園路、トイレ、駐車場、バリアカー等)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、ガイドマップ作成・配布、ハザードマップの作成・配布、管理マニュアルの整備、職員研修(接遇)
	イベント等ソフト面充実	花の無料配布(4月、5月、10月)、春の山野草を食べよう(4月)、このはな館ちびっ子祭り(5月)、梅の実加工体験(梅不作のため中止)、夏休み虫とり教室(8月)、天体観察会(8月)、ネイチャーゲーム(10月)、秋の西都原を楽しもう(10月)、多肉植物の寄せ植え教室(12月)、神話をたどるウォーキング(雨天のため中止)、春のお茶会(4月)、親子で工作「巣箱をつくろう」(1月)、震災を忘れない(3月)
	施設設備等ハード面充実	B地区男子トイレ(給水ポンプ取替) B地区男子トイレ(蛍光灯増設)、A地区・B地区(防鳥ネット設置)
	その他	自主事業時のアンケート調査、西都原公園連絡会(月1回)
管理運営体制	職員技能研修、防災訓練(心配蘇生法及びAEDの使用について)、個人情報保護教育、管理運営委員会	
コメント	自然豊かな地域特性を活かした自主事業に積極的に取り組んでいる。また、西都原考古博物館やガイダンスセンターこのはな館など周辺施設や地域各団体との連携が図られており、西都原地区の観光振興に貢献している。適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めていることなど、全般的に施設の管理運営は適切に行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	来園者アンケート調査、自主事業時のアンケート調査	
	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
苦情発生はなし。		

5 総合評価

評価コメント	植栽・園路・トイレ等の適切な維持管理が行われており、アンケートによる公園に対するニーズの把握や分析に努め、利用者に安全で快適な公園施設を提供している。また、関係団体(このはな館、考古博物館等)と積極的に連携し、公園利用の増加に貢献している。
今後の課題と対応	特別史跡公園という管理地の特殊性により活動内容に一定の制約を受けるが、工夫しながら公園の特徴を活かしたイベント開催が求められる。